

2月22日（土）

第1会場（2階 講堂）

8:50～9:50

シンポジウム5

座長：平賀 博明（国立病院機構北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科・サルコーマセンター）
 辻山 元清（国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科）

精索軟部肉腫

SY5-1 精索発生軟部肉腫手術の問題点

埼玉医科大学国際医療センター 骨軟部組織腫瘍科・整形外科 烏越 知明

SY5-2 精索に発生した肉腫11例

国立病院機構北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科・サルコーマセンター 相馬 有

SY5-3 当院で診療を行った精索内原発肉腫の治療成績

国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科 辻山 元清

SY5-4 Systematic reviewを用いた、鼠径部精索肉腫に対する適切な治療戦略に関する検討

慶應義塾大学医学部 泌尿器科 松本 一宏

10:00～11:30

スポンサードシンポジウム

共催：サーブ・バイオファーマ株式会社

座長：平岡 弘二（久留米大学整形外科）

サルコーマに関する治療の現状と革新的な遺伝子・ウイルス治療の展望

SSY-1 悪性骨軟部腫瘍治療の現状と課題

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 川井 章

SSY-2 腫瘍溶解性ウイルスの技術と臨床開発

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野 小賊健一郎

SSY-3 Surv.m-CRA-1による悪性骨・軟部腫瘍への臨床開発

—First-In-Human試験からⅡ相多施設共同試験へ—

鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻 臨床理学療法学 永野 聰

11:40～12:40

ランチョンセミナー 4

共催：大鵬薬品工業株式会社

座長：南 博信（神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 脳腫瘍・血液内科学分野）

LS4 骨軟部腫瘍における薬物療法のupdate

東北大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学分野 高橋 雅信

12:50～13:20

JSTAR 評議員総会

13:30～15:30

シンポジウム 6

座長：東 尚弘（東京大学医学系研究科 公衆衛生学分野）

小倉 浩一（国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科）

肉腫の疫学～何がわかっていて、何を知るべきか。

SY6-1 疫学を解釈する基礎知識としてのがん登録

東京大学医学系研究科 公衆衛生学分野 東 尚弘

SY6-2 本邦における肉腫の疫学-希少がん分類と頭頸部肉腫-

東京大学医学系研究科 公衆衛生学分野 力武 謙子

SY6-3 全国がん登録から見える日本における骨軟部腫瘍の疫学

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科／

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 希少がんセンター／

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 國際開発部門 小倉 浩一

SY6-4 院内がん登録データから見えた日本における泌尿生殖器肉腫の現状と課題

筑波大学医学医療系 泌尿器科 新田 聰

SY6-5 全国骨・軟部腫瘍登録から見える肉腫の疫学と臨床像

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 川井 章

15:40～16:40

特別アンコール講演

座長：田仲 和宏（大分大学医学部 先進医療科学科）

SL Brigimadlin versus standard-of-care doxorubicin as first-line treatment in patients with advanced DDLPS: Brightline-1

Department of General Medical Oncology, University Hospitals Leuven,
Leuven Cancer Institute, Leuven, Belgium Patrick Schöffski

16:40～16:50

閉会式

第2会場（1階 小講堂）

8:50～9:50

一般演題（口演）1

座長：今井 礼子（QST病院）

岩田 玲（NHO北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科）

O1-1 軟部肉腫術後照射の治療成績

兵庫県立がんセンター 放射線治療科 別所 良祐

O1-2 骨軟部肉腫に対する吸収性スペーサー留置併用粒子線治療：2施設での経験 神戸陽子線センター 放射線治療科／神戸大学医学部附属病院 放射線腫瘍科 梶原 彰文

O1-3 当院における骨軟部腫瘍患者に対する高圧酸素療法併用放射線治療の治療成績についての検討

九州労災病院 整形外科 松延 知哉

O1-4 切除不能後腹膜血管肉腫に対して後腹膜アプローチで吸収性スペーサー留置後に陽子線治療を行った症例

鹿児島大学 整形外科 佐々木裕美

O1-5 陽子線治療に長期制御を得た巨大縦隔孤発性線維性腫瘍の一例 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 陽子線治療科 中嶌晃一朗

O1-6 軟部肉腫に対して術前陽子線治療を施行した4症例の検討

神戸陽子線センター 放射線治療科 岩下 和真

O1-7 四肢発生悪性骨軟部腫瘍に対する粒子線治療の治療成績

兵庫県立がんセンター 整形外科 八尋 俊輔

10:00～11:30

Patient advocate program

座長：細谷 要介（聖路加国際病院 小児科）
押田 輝美（肉腫（サルコーマ）の会 たんぽぽ）

患者の体験談は治療に必要か？～ナラティブな情報の役割を考えよう～

- PAP-1 アンケートから見る体験談やピアサポートの可能性と課題**
肉腫（サルコーマ）の会 たんぽぽ 志村 敬彬
- PAP-2 肉腫患者の一人として**
肉腫（サルコーマ）の会 たんぽぽ 田村ひとみ
- PAP-3 肉腫をり患して！**
肉腫（サルコーマ）の会 たんぽぽ 石井ももえ
- PAP-4 ピアサポートの役割～AYAカフェ開催の経験から～**
国立がん研究センター東病院 小児腫瘍科・腫瘍内科 細野 亜古
- PAP-5 患者にとって必要な情報は何か
～小児AYAサポートチームの関わりから考える～**
国立病院機構北海道がんセンター 看護部 細田智亜紀
- パネリスト**
奈良県立医科大学 骨軟部腫瘍制御・機能再建医学 朴木 寛弥

11:40～12:40

ランチョンセミナー 5

共催：中外製薬株式会社

- 座長：角永 茂樹（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 整形外科（骨軟部腫瘍科）副部長）
- LS5 悪性軟部腫瘍の薬物療法の現状と新規治療戦略の展望**
国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 小島 勇貴

13:30～14:30

スポンサードセッション

共催：アレクシオンファーマ合同会社 メディカルアフェアーズ本部

- 座長：川島 寛之（新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能再建医学講座整形外科学分野 教授）
- 悪性化の見分け方を理解する～NF1における叢状神経線維腫～

- SS 叢状神経線維腫－悪性末梢神経鞘腫瘍診療の勘所**
名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション科 教授 西田 佳弘

14:40～15:30

一般演題（口演）6

座長：国定 俊之（岡山大学 整形外科）

市川 仁（国立がん研究センター研究所 臨床ゲノム解析部門）

O6-1 骨粗鬆症リスクは転移性骨腫瘍早期発生と関連する： 人工知能を活用した年齢ごとの乳癌補助薬物療法の提案

国立病院機構北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科／

北海道大学大学院医学研究院 機能再生医学分野 整形外科教室 清水 寛和

O6-2 胞巣状軟部肉腫のがん微小環境形成機構と治療法開発

公益財団法人がん研究会 がん研究所／東京医科大学 医学総合研究所 田中 美和

O6-3 プロテオゲノミクス解析による悪性骨軟部腫瘍の新たな診断・治療標的の同定

国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野／

千葉大学大学院医学研究院 整形外科学 岩田 秀平

O6-4 骨・軟部腫瘍の患者由来鶏卵モデルの生着に関する検討

徳島大学大学院医歯薬学研究部 運動機能外科学／

静岡県立静岡がんセンター 整形外科 土岐 俊一

O6-5 肉腫の薬剤探索：患者由来肉腫細胞株とファーマコゲノミクスを用いて

国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野 野口 玲

O6-6 小児骨・軟部肉腫の短期コラーゲン3次元培養によるin vitro薬剤感受性プロファイリング

神奈川県立こども医療センター 小児がんセンター・血液・腫瘍科 後藤 裕明

第3会場（1階 第1会議室）

8:50～9:50

一般演題（口演）2

座長：田仲 和宏（大分大学医学部 先進医療科学科）

荒川 歩（国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科）

O2-1 EPHB4受容体発現のユーリング肉腫又は固形がんを対象とした非 ウイルス遺伝子改変CAR-T細胞療法の第I相臨床試験

国立がん研究センター東病院 先端医療科／

国立がん研究センター東病院 腫瘍内科 船坂知華子

O2-2 骨肉腫肺転移後治療成績の年代別検討

国立病院機構北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科／

北海道大学大学院医学研究院 機能再生医学分野 整形外科教室 清水 寛和

O2-3 肉腫転移巣に対するラジオ波焼灼法の短期治療成績

帝京大学医学部 整形外科学講座 今西 淳悟

O2-4 局所再発性の原発性良性骨腫瘍に対するRFバイポーラーシーラーの使用成績

高知大学 整形外科 村松 健大

O2-5 Retrospective study of Pazopanib therapy in children and adolescent and young adult with relapsed and refractory sarcoma

Department of Pediatrics, Okayama University Hospital /

Department of Pediatric Oncology, National Cancer Center Hospital Kosuke Tamefusa

O2-6 小児・AYA世代肉腫の終末期：どこで最期を迎えるか

大阪公立大学 整形外科 大戎 直人

O2-7 小児・AYA世代の骨肉腫に対する周術期化学療法が骨密度に与える影響－CT値を用いた検討

山形大学医学部附属病院 整形外科 菅原 正登

10:00～10:40

一般演題（口演）3

座長：秋山 達（自治医科大学附属さいたま医療センター 整形外科）

元村 尚嗣（大阪公立大学 形成外科）

O3-1 軟部肉腫における血腫形成が予後と局所制御に与える影響の検討

名古屋大学医学部 整形外科／名古屋大学医学部附属病院 希少がんセンター 酒井 智久

O3-2 背部悪性軟部腫瘍の再建戦略：遊離vs有茎皮弁の治療成績の比較および背部レシピエント血管の解剖的研究

がん研有明病院 形成外科 辛川 領

O3-3 後腹膜脂肪肉腫手術の地域集約化に関する検討：通院距離と紹介日数の比較分析

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 中西 香企

O3-4 大腿骨転移性骨腫瘍切迫骨折に対する予防的介入は術後死亡率低下と関連する：新片桐スコアに基づく中・高リスク患者における解析

国立病院機構北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科／

北海道大学大学院医学研究院 機能再生医学分野 整形外科教室 清水 寛和

O3-5 Modified Glasgow Prognostic scoreで低スコアであった軟部肉腫の予後予測因子

三重大学整形外科 中村 知樹

10:50～11:30

一般演題（口演）4

座長：松峯 昭彦（福井大学 整形外科学）

砂川 真輝（名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科）

- O4-1 脱分化型脂肪肉腫の治療成績 後腹膜腔と四肢・体壁・頭頸部の比較**
信州大学 整形外科 岡本 正則

- O4-2 80歳以上の悪性軟部腫瘍手術における術後合併症と要介護状態への移行リスク：フレイル患者に対する周術期管理の重要性**

がん研究会明病院 整形外科／東京科学大学 整形外科学 黒澤 紀雄

- O4-3 高齢者の高悪性軟部肉腫における遠隔転移リスク因子解析**
東北大学 整形外科 吉田新一郎

- O4-4 骨盤内巨大肉腫に対する開腹操作と経肛門/会陰操作を併用したランデブー切除の意義**

名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 村田 悠記

- O4-5 診療科横断的な集学的治療を要する下大静脈合併切除を行った後腹膜腫瘍に対する手術手技**

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学 桑原 聖実

11:40～12:40

ランチョンセミナー6

共催：大原薬品工業株式会社

座長：今西 淳悟（帝京大学医学部 整形外科学講座）

骨肉腫治療におけるHDMTXの有用性～グルカルピダーゼの役割～

- LS6-1 骨肉腫に対する大量MTX療法と支持療法の歴史と現在地**
国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 宮崎 文平

- LS6-2 MTX大量療法後に排泄遅延を呈した大腿骨遠位骨肉腫の1例
—メグルダーゼの使用経験—**

愛知県がんセンター 整形外科・希少がんサルコーマセンター 筑紫 聰

13:30～14:30

一般演題（口演）5

座長：森井 健司（杏林大学 整形外科）

有賀 伸（北海道大学 がん遺伝子診療部・腫瘍内科）

- 05-1 転移性骨腫瘍患者におけるデノスマブ長期投与と頸骨壊死の発生率に関する検討

福山市民病院 整形外科 横尾 賢

- 05-2 院内がん登録による平滑筋肉腫の治療成績

信州大学医学部附属病院 整形外科 高沢 彰

- 05-3 軟部肉腫における早期遠隔転移予測因子としての栄養・炎症マーカーの有用性

横浜市立大学大学院 運動器病態学 吉田 智隆

- 05-4 骨肉腫患者における肉腫専門病院受診前因子の実態調査

－4-week ruleの提言－

岡山大学病院 整形外科 藤原 智洋

- 05-5 血管肉腫の原発部位による比較検討：

単施設192例の後ろ向きコホート研究

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 鶴田 成二

- 05-6 下腿軟部肉腫の術後機能低下リスク因子の検討

岡山大学病院 整形外科 前原 仁

- 05-7 希少がんホットライン相談からみる肉腫診療の現状

大阪国際がんセンター 希少がんセンター 田口 賀子

14:40～15:30

一般演題（口演）7

座長：小田 義直（九州大学 形態機能病理学）

藤原 智洋（岡山大学病院 整形外科）

- 07-1 骨巨細胞腫における酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ5b (TRACP5b) 測定の有用性

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科／
佐賀大学 整形外科 戸田 雄

- 07-2 当院におけるpleomorphic liposarcomaの成績と予後不良因子の検討

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 下村 征史

- 07-3 ユーイング肉腫に対する術前化学療法の予測モデルの作成

名古屋市立大学 整形外科／Rizzoli Orthopedic Institute 相羽 久輝

07-4 DINO deep learningモデルを用いた全視野四肢X線画像における骨腫瘍の検出および良悪性鑑別のための全自动AIモデルの開発

九州大学大学院 整形外科／
九州大学大学院システム情報科学研究院 情報知能工学部門
実世界ロボティクス講座 ヒューマンインタフェース研究室 山名 真士

07-5 肉腫におけるがん遺伝子パネルの有用性の検討

岡山大学学術研究院医歯薬学域 整形外科 中田 英二

07-6 10mm未満の肺結節影を持つ骨肉腫患者の予後解析

国立病院機構北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科／
北海道大学大学院医学研究院 機能再生医学分野 整形外科教室 清水 寛和